

日本の主な火山活動

全国の火山の概況

三宅島では小規模な噴火があった。多量の火山ガスの放出が継続し、噴煙活動は依然活発である。桜島で噴火・爆発があった。諏訪之瀬島で爆発があった。雌阿寒岳、十勝岳で微動があった。

図 1 以下には噴火をした火山 ()、観測データ等に变化のあった火山 () を示す。

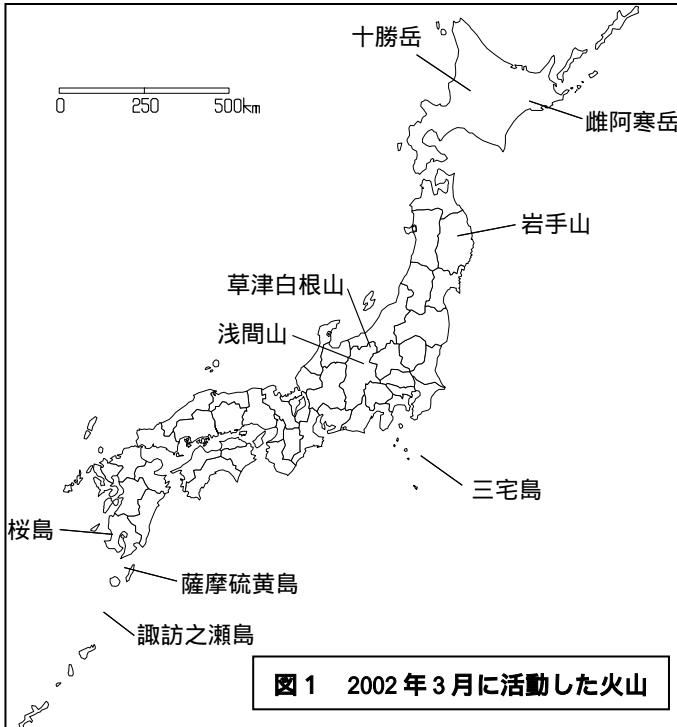


図 1 2002 年 3 月に活動した火山

表 1 過去 1 年間に活動した火山

火山名	2001年												2002年				
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
雌阿寒岳																	
十勝岳																	
樽前山																	
有珠山																	
岩手山																	
吾妻山																	
安達太良山																	
磐梯山																	
那須岳																	
日光白根山																	
草津白根山																	
浅間山																	
新湯焼山																	
富士山																	
箱根山																	
伊豆大島																	
三宅島																	
噴火浅根																	
硫黄島																	
北福德堆																	
福德岡ノ場																	
九重山																	
阿蘇山																	
桜島																	
薩摩硫黄島																	
諏訪之瀬島																	

各火山の活動概況

本文の火山名の後の [噴煙・噴気・地震・微動・空振・地殻変動・熱・火山ガス等] は、掲載した理由となった火山現象を示す。

雌阿寒岳 [微動・地震]

火山性微動が発生し、地震が一時的に増加した。

29 日 08 時 03 分頃に継続時間 3 分の火山性微動が発生した。火山性微動の発生は 1998 年 11 月 9 日の小噴火以来である。その直後から地震が一時的に増加したが (図 2)、噴煙活動や地殻変動には、特別な変化はなかった。

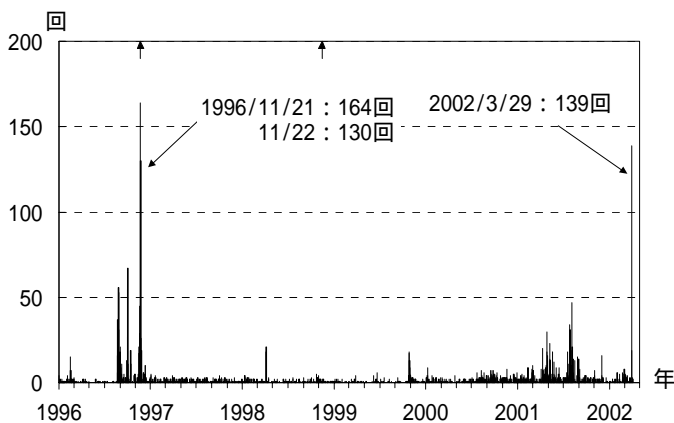


図 2 雌阿寒岳 日別地震回数 (1996 年 1 月 ~ 2002 年 3 月、 : 噴火)

十勝岳 [微動]

火山性微動が発生した。

7 日 01 時 24 分頃に継続時間 4 分の小さい火山性微動が発生したが、噴煙活動や地殻変動には、特別な変化はなかった。火山性微動の発生は 1 月 4 日以来である。

岩手山 [噴気・地震]

噴気活動がやや活発な状態が継続した。

遠望カメラによる観測では、黒倉山山頂の噴気の高さの最高は 150m (1 日) で、その他の日は 100m 以下であった (2 月の最高 300m)。

5 日に東北地方整備局、14 日に岩手県の協力により行った上空からの観測では、噴気・地熱地帯の状況に大きな変化は見られなかった。

東岩手山 (山頂付近) 及び西岩手山 (大地獄谷 ~ 姥倉山) の地震活動は継続しており、今期間は岩手山西側の地震回数がやや増加し、月回数 (東北大学松川観測点) は 60 回であった (2 月 35 回)。うち、東岩手山のやや深いところ (深さ 10km 前後) を震源とする低周波地震は 1 回発生した (2 月なし)。

震源がモホ面付近 (深さ 30km 前後) とみられる低周波地震は 1 回発生した (2 月 10 回)。

火山性微動は、22 日に 1 回 (継続時間 3 分 13 秒) 発生した (2 月なし) (以上図 3)

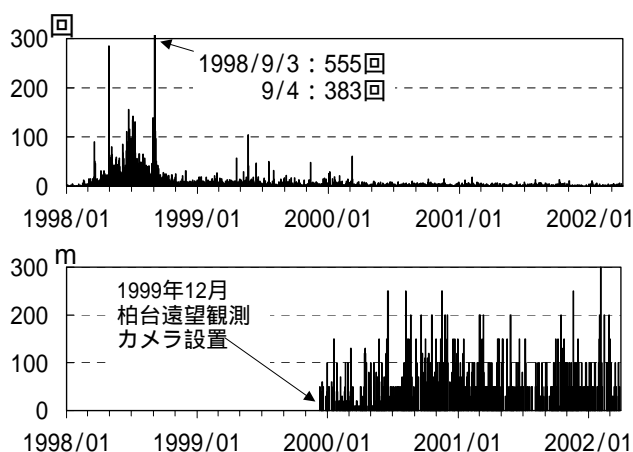


図3 岩手山 日別地震回数（東北大学松川観測点）
及び黒倉山噴気高度
（1998年1月～2002年3月）

草津白根山 [地震]

下旬に地震活動がやや活発化した。

地震回数は、23日に11回と多い状態になったが、月回数は17回で、特に大きな変化ではない（図4）。

火山性微動は発生しなかった。

遠望カメラによる観測では、噴煙は観測しなかった。

GPS観測では、特に異常な変化はみられなかった。

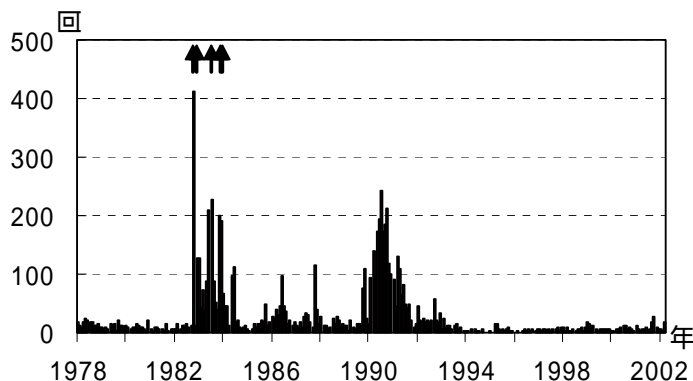


図4 草津白根山 月別地震回数
（1998年1月～2002年3月、↑↑↑：噴火）

浅間山 [地震]

地震活動がやや活発な状態が継続した。

2000年9月以降、地震活動がやや活発な状態が続いている。3月の地震回数は、23日以降、日回数が40回前後とやや多い状態となり、月回数は732回となった（2月312回）。（以上図5）

火山性微動は発生しなかった。

GPS及び傾斜計による地殻変動観測、並びに遠望カメラによる噴煙の観測では、特に異常な変化はみられなかった。

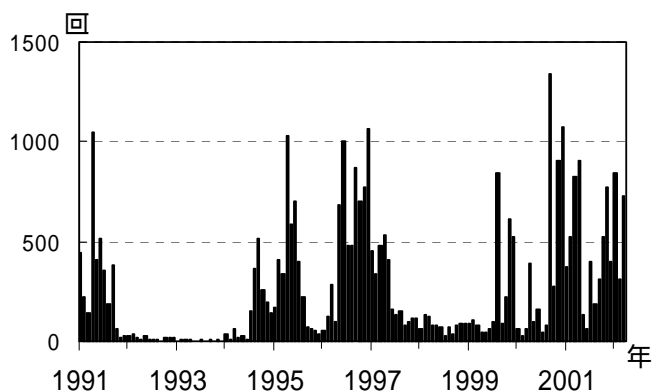


図5 浅間山 月別地震回数
（1991年1月～2002年3月）

三宅島 [火山ガス・噴煙・降灰・微動・熱]

小規模な噴火が発生した。山頂火口からは多量の火山ガスの放出が継続し、噴煙活動は依然活発である。

2日05時53分、06時12分及び31日06時03分に、空振を伴う小規模な噴火が発生した。噴火の発生は2月21日以来である。2日の噴火では灰白色の噴煙が上がり（高さは雲のため不明）、北西に流れるのを確認した。31日の噴火では灰色の噴煙が火口上800mまで上がり、北東に流れるのを確認した。この噴火では、島の北東側で少量の降灰が確認された。水蒸気を中心とする白色の噴煙は山頂火口から連続的に噴出しており、噴煙の高さの最高は火口上1200m（16、28日）であった。

地震活動は、孤立的な微動の活動が継続しているが、回数、振幅の規模ともに目立った活動はなかった。山頂直下の地震活動度は低い状態にある。連続的に発生している火山性微動は、振幅が小さい状態が続いている。

GPS観測では、三宅島の収縮を示す地殻変動は、長期的には鈍化傾向にある。

全磁力の連続観測では、特に異常な変化はみられなかった。

4、13、19、25日に気象庁、産業技術総合研究所及び大学合同観測班が行った上空からの観測*では、主火口からの白色噴煙の放出は継続し、火山ガスを含む青白い噴煙が火口上空から風下に流れていた。山体の地形、火口の状況等に、大きな変化はなかった。主火口からの噴煙の温度は依然高い状態であり、上空から行った赤外熱映像装置による観測では、火口内温度の最高は380（2月462）であった。また、同時に気象庁が行った上空からの二酸化硫黄の放出量の観測*では、約7000～23000トン/日（2月約7000～17000トン/日）と、依然高いレベルの放出が継続している（以上図6）。

*東京消防庁、警視庁、海上保安庁の協力による。

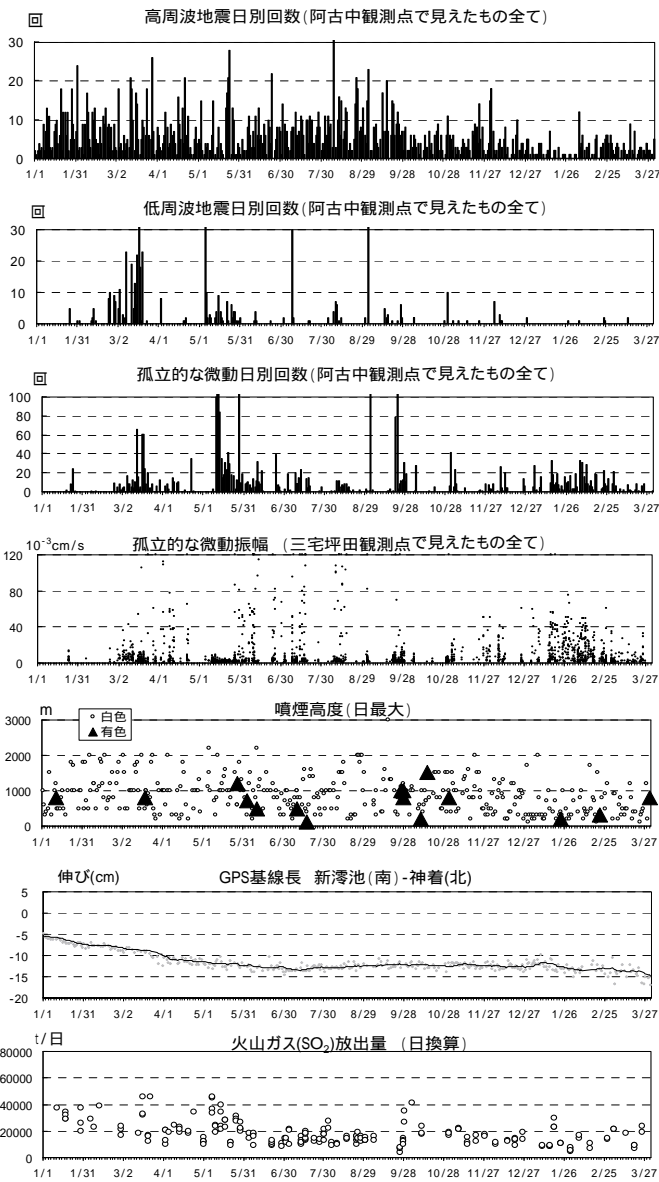


図 6 三宅島 火山活動経過図 (2001 年 1 月 ~ 2002 年 3 月)

桜島 [噴煙・空振・降灰]

依然噴火活動が継続している。

噴火の月回数は 5 回 (2 月 5 回) で、3 回は爆発であった (2 月 5 回)。そのうち、体感空振を 1 回 (小*) 観測した。噴石、爆発音等は観測しなかった。

火口縁からの噴煙の高さの最高は 1200m であった (2 月 1000m)。

鹿児島地方気象台における降灰日数は 2 日、降灰量は 0 g/m² であった (2 月なし) (以上図 7)。

火山性地震、微動は少ない状態で推移した。

GPS 観測では、特に異常な変化はみられなかった。

* 小 : 注意深くしていれば感じる程度。

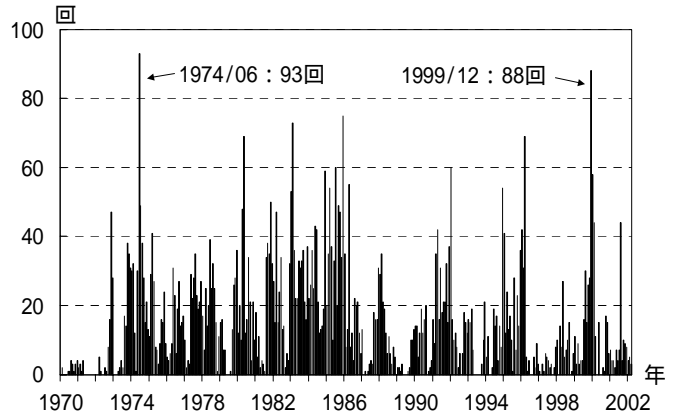


図 7 桜島 月別爆発回数 (1970 年 1 月 ~ 2002 年 3 月)

薩摩硫黄島 [地震]

活発な地震活動が継続している。

規模の小さな地震は依然として多い状態であり、月回数は 2898 回 (2 月 2707 回) であった (図 8)。

火山性微動は 10 日に 1 回発生した (2 月なし)。

三島村役場によると、有色噴煙や降灰は確認されなかった。

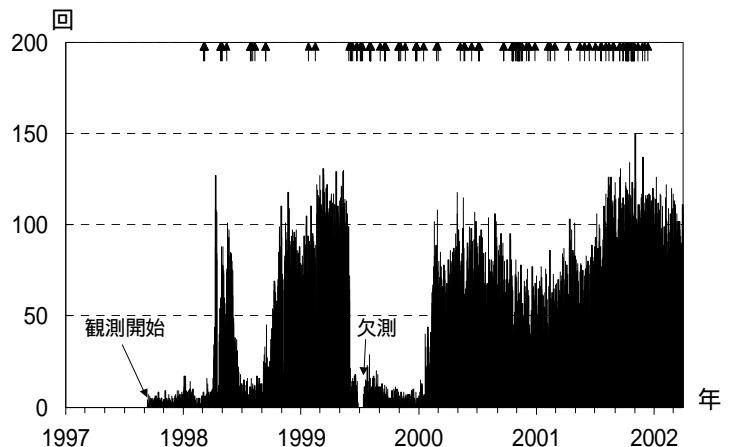


図 8 薩摩硫黄島 日別地震回数 (1997 年 9 月 ~ 2002 年 3 月、 : 噴火)

諏訪之瀬島 [噴煙・微動・空振]

噴火・爆発が発生した。連続的な火山性微動、噴火に伴う空振を観測した。

2 月 28 日から活発化した火山活動が 5 日まで継続した。この期間中、連続的な火山性微動が発生し、31 回の爆発地震を観測した。

十島村役場によると、1 日夜から 3 日にかけて爆発音、体感空振及び火映現象が確認され、2 日夜から 3 日にかけて集落で降灰があった。また、24 日には火山灰を含む噴煙が確認された。噴煙高度の最高は 700m (3 日) であった。

地震の月回数は 86 回 (2 月 38 回) であった (以上図 9)。

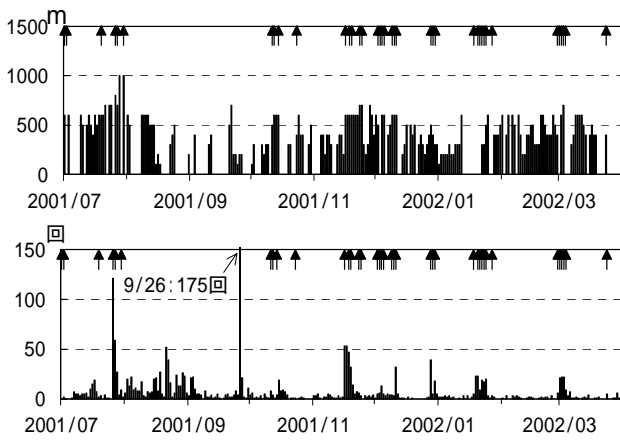


図 9 諏訪之瀬島 日別噴煙高度及び地震回数
（2001 年 7 月～2002 年 3 月、▲：噴火）

表 2 2002 年 3 月の火山情報発表状況

火山名	火山情報名	発表日時	発表官署	概要
岩手山	火山観測情報第 4 号	20日14時00分	仙台管区气象台	噴気・地震・微動の状況、上空からの観測結果
磐梯山	火山観測情報第 5 号	15日13時30分	仙台管区气象台	噴気・地震・微動の状況
三宅島	火山観測情報第117号	1 日09時30分	気象庁地震火山部・ 三宅島測候所 気象庁地震火山部	噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動の状況、上空からの観測結果、及び上空の風・火山ガスの移動予想
	火山観測情報第118号 （1 日 2 回発表）	1 日16時30分		
	火山観測情報第178号	31日16時30分		
諏訪之瀬島	火山観測情報第 3 号	1 日09時30分	鹿児島地方气象台	微動・空振・噴煙の状況 爆発的噴火、微動・空振・噴煙の状況、火映の確認
	火山観測情報第 4 号	2 日10時30分	福岡管区气象台・ 鹿児島地方气象台	